

は　じ　め　に

埼玉県立文書館は、埼玉県に関する歴史的・文化的価値のある古文書、行政文書、地図などの資料を体系的に収集・整理し、県民共有の財産として永く後世に伝えていくことを目的に、昭和44年（1969）に設立されました。

県内外の皆様方から御寄贈・御寄託いただきました古文書は、現在までに総点数47万点を超えました。当館ではこれらの古文書の整理を進めるとともに、閲覧利用の便を図るために収蔵文書目録を編集・刊行してまいりました。令和6年度は、第63集として「土生津家文書目録（2）」を刊行いたします。

土生津家文書は、昭和50年（1975）に当館に御寄託頂いた総点数約1万5000点に及ぶ文書群です。同年には「近世史料所在調査報告10」として6,322点を収録する「土生津家文書目録」を刊行いたしました。この度、第1巻の刊行から50年を経て、第2巻を刊行する運びとなりました。

本目録では、令和6年度に新たに整理を行った5,604点の文書を収録します。土生津家は、江戸時代中期以降、下総国葛飾郡上金崎村（現埼玉県春日部市）の名主、明治時代以降は、副戸長、南桜井村長、郵便局長などを務めた家で、所蔵文書は江戸川を中心とした水利・普請関係の近世・近代文書を多く含みます。

これらの文書は、長らく目録刊行と閲覧提供が待望されてきました。本目録の刊行が、生涯学習や学校教育あるいは歴史、地理などの学術研究に幅広く活用されるであろうことを願っています。

末筆ながら、本目録の刊行に当たり、貴重な古文書を御寄託くださいました土生津家の皆様をはじめ、御協力いただきました関係各位に厚くお礼を申し上げ、御挨拶といたします。

令和7年3月

埼玉県立文書館長　　福　沢　景

